

事業所名	TO BE	支援プログラム	作成日	2025年 11月 28日
法人(事業所)理念	お子様1人ひとりの個性を尊重いろいろなことに一緒にとりくめる楽しさ「できた」というスマールステップの積み重ねで達成感を、私たちスタッフとお友だちみんなで作りあげていくことを大切にしています。			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 自立に向けた療育 個別療育と集団療育の両面から自立を支援させていただきます。 個別療育：一人ひとりに合わせた療育で運筆やシール貼り等指先の運動の向上を目指します。 集団療育：みんなで楽しい目標を目指し遊びを通じて協調性やルールを守る大切さ等を身に付けます。 			
営業時間	11時	30分から	17時	30分まで
	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
	支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握 生活リズムの安定 基本的生活スキルの獲得：排泄、衣服の着脱等 構造化等により生活環境を整える：構造化されたわかりやすい形での場所や時間の提示 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を味わう・幼児期に必要な3つの動きを取り入れながら、粗大運動を中心とした身体の土台作り 五感+前提感覚・固有感覚を刺激し保有する感覚を十分に活用できる支援 姿勢と運動 動作の基本的技能の向上：トランポリン・サークル運動等 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用・音楽に合わせて身体を動かす遊び、楽器等 療育こども整体：発達に心配のあるこどもは姿勢が悪く体も強張り血流もよくない場合が多くみられるため、疲れやすかったり痛みを感じる方がいます。血の流れが悪いので体は冷えやすく、免疫も下がるので体調を崩しやすくなります。療育こども整体を続けると身体の強張りが減り、疲れにくくなります。身体の強張りが減ると身体を動かしやすくなり血流が良くなり身体は温もり体調も崩しづらくなります。療育こども整体は『なでる』『ゆらす』など愛護的な施術で安心できる支援 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や製作を通して季節を感じる・制作活動により色・形・重さ・柔らかさなどの感覚を養う・主体的な活動を通して遊びを深めていくことで、認知力の向上に繋げていく 視覚・聴覚・触覚などの感覚や認知の活用：絵合わせ・パズル・バランスゲーム等 知覚から行動への認知過程の発達：楽器、紙飛行機等 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成：具体的な指示、見通しを持つための提示等 数量、大小、色などの習得：マッチングゲーム、カテゴリー別クイズ等 認知の偏りへの対応：環境調整、簡単なルールのある遊び等 行動障害への予防及び対応：適切な行動の強化、ルールの提示、保護者との情報共有 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや様々な活動を通して多くの言葉に触れ、事物と言葉がマッチングできる環境づくり 言語／非言語を用いて、コミュニケーションの疎通性を向上させ、自分の想いが伝わった経験を積む ひらがな、数字などの基礎的な文字への興味関心を広げる事が出来る支援 言語の形成と活用：しりとり、なぞなぞ等 受容言語と表出言語の支援：絵カード探し（受容）、ジェスチャーゲーム、カテゴリ別クイズ、（表出）気持の代弁等 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得、基本的挨拶、イントラバーバル等 指差し、身振り、サイン等の利用：指差し簡単なサインの強化等 読み書き能力向上のための支援：文字マッチングゲーム等 手話、展示、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用：簡単なマカトンサイン、絵カード等 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団への参加への支援：わかりやすい一斉支持と必要に応じた個別の対応、具体的なルールの提示等「一緒にできて楽しかった。」経験を重ねる・主体的な遊びを通して「やり遂げた」という達成感を感じる 見通しを立てることで自分の気持ちに折り合いをつける経験を重ねる・集団への参加への支援：わかりやすい一斉支持と必要に応じた個別の対応、具体的なルールの提示等 アタッチメントの形成：ふれあい遊び等 模倣行動の支援：まねっこ遊び等 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援：見立て遊び、ごっこ遊び、やり取り遊び、レクレーション等 一人遊びから共同遊びへの支援：鬼ごっこ、だるまさんがころんだ等自己の理解とコントロールのための支援：約束事の提示、自己統制の促し、場面転換時の切り替え支援（予告、いつまでやるかのか具体的な提示） 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 発達状況、特製の理解と共有 家族からの相談や悩みに対しての助言 家族の休息（レスパイト）・リフレッシュ 		移行支援	将来に見据えての目標設定、・支援内容検討 移行支援会議・移行先の選択に関する相談援助・情報提供 併用事業所や幼稚園、保育園等との情報共有や支援の共有
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 関係する児童発達支援事業所や放課後等デイサービス、相談支援事業所との連携支援方法の相談援助、情報共有し密な連携を図る 		職員の質の向上	虐待防止・権利擁護・身体拘束に関する研修の実施 内部研修（障害、発達、支援方法、子供にかかる法令等）外部研修参加の推進、研修内容の共有 新入職員研修：法廷研修（コンプライアンス、マナー、接遇、虐待防止、ハラスメント、感染症予防、人権）ケース検討会
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた行事 			